

新基地建設反対名護共同センターニュース

「楽しかった! ピクニックをありがとう!」

瀬嵩の浜へ二百人余 「美ら海に感動!」

大ピクニックがやんばる統一連と名護共同センターなどによる実行委員会主催で名護市瀬嵩の浜で4日行われ、快晴のもと県内外から家族ぐるみ210人が参加しました。ピクニックでは抗議船やカヌー、グラスボートに計125人が乗船し、大浦湾の息を呑むような美ら海を体験しました。連風が舞う下、舞台上で仲本興真実行委員長や赤嶺政賢衆院議員が挨拶し屋良朝博衆院議員のメッセージが紹介されました。沖縄戦史や活断層のミニ学習会もあり、会沢芽美さんや喜納さんの歌や楽器演奏、全員合唱を楽しみました。名護民商が焼きそばとアイスクリン、共同センターがカレーライス、新婦人が大根などを、医療生協がコーヒーを販売し大好評でした。子どもたちは船や砂遊び、スイカ割りなどに歓声を上げていました。グラスボートに初めて乗船したある女性は「他の海と比べ大浦湾の透明度は格段でとても感動しました。この海を埋め立てて新基地を造らせてはいけなくと改めて思った。ピクニックの企画をありがとう」と喜んでいました。



上写真は、赤嶺衆院議員。左空は、一人芝居の会沢さん。空には連風が舞っています。



活断層の可能性高い大浦湾

「オール沖縄会議」は4月26日、地質学の研究者チームが3月に行った辺野古活断層調査の報告会を那覇市内で開き約200人が参加しました。報告会で立石雅昭新潟大名誉教授(写真)は「辺野古周辺の地形と地質調査・解析の結果、活断層が存在する可能性は高い。防衛省は地殻変動に関する調査を行い公表すべきである。防衛省がこれを放置するならば、沖縄県が調査を系統的に行い県民の安全・安心に責任を負うべきである」と提言しました。



「オール沖縄会議」は4月26日、地質学の研究者チームが3月に行った辺野古活断層調査の報告

「防衛省は調査し公表すべき」立石教授が報告



平和丸基金へのカンパのお願い

平和丸第3代船長 仲本興真

平和丸は約15年前に全国のみなさんのカンパで贈られました。故・大西照雄初代船長のもと単管やぐらのたたかいで杭一本を打たせず勝利したのをはじめ、その後も新基地建設反対の海上でのたたかいの先頭に立って活躍してきました。しかし、船本体も台車も大改修することが求められ、当面、船と台車合わせて防水・塗装で約40万円の修繕費が必要となっています。平和丸基金へのカンパを心からお願いいたします。

平和丸基金の振込口座

- ★ゆうちょ銀行口座 記号 17060 番号 18503291 (名義) 具志堅 徹
- ★琉球銀行名護支店 普通 口座番号 935086 (名義) 平和丸 代表 具志堅 徹